

# 令和5年度スポーツ・ハラスメントに関する 保護者向け意識調査 -結果報告書(データ版)-

令和6年3月  
公益財団法人沖縄県スポーツ協会

## 調査概要

本調査は、高校生以下のお子さまをもつ保護者を対象に、沖縄県内のスポーツ活動におけるスポーツ・ハラスメント(スポハラ)の現状や認識を把握すること、そして今後のスポハラ予防活動をより充実させるための基礎資料とすることを目的として、以下の通り実施しました。別添の報告書(概要版)と合わせてご確認ください。

- ・期 間:2023年11月17日(金)~12月22日(金)
- ・対象者:沖縄県内でスポーツ活動に参加する子どもを持つ保護者
- ・方 法:Googleフォームを活用したインターネット調査の形式で実施
- ・周知方法:当協会加盟団体に周知協力を依頼
- ・回答件数:合計**1284件**の回答

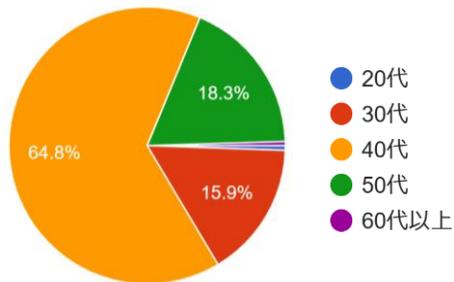
## 〈調査項目〉

- 問 1. あなたの年齢を教えてください。
- 問 2. お子さまの学年を選択ください。
- 問 3. お子さまが参加している競技を選択ください。
- 問 4. お子さまが所属するチーム(クラブ)が拠点とする市町村(主な活動場所)を記入ください。
- 問 5. あなたのお子さまが所属するチームは、スポーツ少年団に加入していますか。
- 問 6. あなたのお子さまが所属するチームの指導者はスポーツに関する資格を保有していますか。
- 問 7. どこからどこまでがスポハラ(不適切行為)に当たるのか、具体的にどのような行為がスポハラと考えていますか。
- 問 8. 「怒る(怒鳴る)指導」に対するあなたの考え方として、次のどちらに近いですか。
- 問 9. スポハラが生じる要因としてどのような背景があると思いますか。
- 問10. お子さまが所属するチームで今年4月から今までの活動中に、スポハラと思われる不適切な行為はありましたか。
- 問11. お子さまが所属するチーム以外で今年4月から今までの活動中にスポハラと思われる不適切な行為はありましたか。
- 問12. ①問10・11で実際に見たスポハラは誰から誰に対してのものでしたか。  
②スポハラの現場を実際に見た際にどのような行動を取りましたか。
- 問13. 2023年4月25日から日本スポーツ協会などが中心となり「NO! スポハラ」活動がスタートしたことを知っていましたか。
- 問14. スポハラ予防に関するスポーツ界の取組みは十分と思いますか。  
・前問14において「不十分」又は「全く不十分」と考える具体的な理由があれば教えてください。
- 問15. スポハラ予防に関して、今後、沖縄県スポーツ協会に取組みを強化してほしい分野をあげるとしたら次のうちどれですか。
- 問16. スポハラ等に関する相談窓口について
- 問17. 最後に、スポハラ予防に関してご意見ご質問などがあればご自由に入力ください。



# アンケート回答結果

問 1. あなたの年齢を教えてください。



問 3. お子さまが参加している競技を選択ください。

競技	回答数
バスケットボール	327
野球	204
バレーボール	168
サッカー	119
バドミントン	107
その他	100
ハンドボール	96
テニス	60
ソフトテニス	27
水泳	25
空手道	20
陸上	20
ダンススポーツ	3
相撲	2
体操	2
アイスホッケー	1
ラグビーフットボール	1
レスリング	1
自転車	1

※「その他」について、23種目の中から選択にした為、選択項目にない競技は全て「その他」となっている。

問 5. あなたのお子さまが所属するチームはスポーツ少年団に加入していますか。(小学生保護者のみ)

選択項目	回答数	割合
していない	23	5%
している	335	73%
わからない	99	22%
計	457	

※中高生保護者のみの場合

選択項目	回答数	割合
していない	285	34%
している	134	16%
わからない	408	49%
計	827	

問 7. どこからどこまでがスポハラ(不適切行為)に当たるのか、具体的にどのような行為がスポハラと考えていますか。※該当するものを選択

選択項目	選択率
・暴力	91%
・無視・仲間はずれ	90%
・差別的言動	89%
・暴言	89%
・パワーハラスメント	87%
・性的虐待(セクシャルハラスメント)	86%
・他人の尊厳を傷つける言動	86%
・他人に対する配慮を欠いた言動	82%
・ミスをした選手に対して、過度な居残り練習や罰メニューを課す	73%
・プレーでミスをした選手に怒る(怒鳴る)	63%
・プレーでミスをした選手を叱る	38%
・選手が理解できるまで長時間でも根気強く言い聞かせる	36%
・取り組む態度や姿勢が悪い選手を叱る	14%
・ルールやマナーを守れない選手を叱る	13%
・その他(自由記述)※76件の回答あり	6%

問 2. お子さまの学年を選択ください。

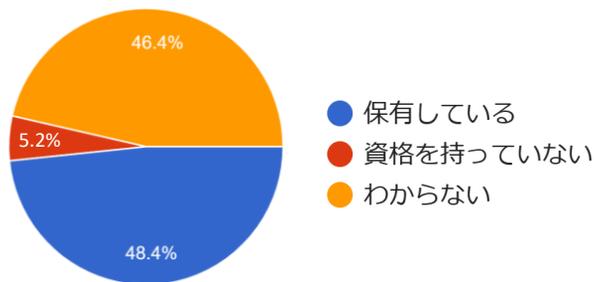
学年	件数	割合
小学1年生	13	1.0%
小学2年生	16	1.2%
小学3年生	44	3.4%
小学4年生	74	5.8%
小学5年生	140	10.9%
小学6年生	170	13.2%
中学生	755	58.8%
高校生	72	5.6%
小学生	457	35.6%
中学生	755	58.8%
高校生	72	5.6%
総計	1284	

問 4. お子さまが所属するチーム(クラブ)が拠点とする市町村(主な活動場所)を記入ください。

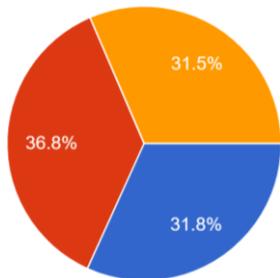
市町村	件数	市町村	件数
那覇市	348	南城市	28
浦添市	112	読谷村	26
沖縄市	90	嘉手納町	18
石垣市	75	南風原町	18
豊見城市	74	八重瀬町	13
名護市	69	金武町	11
宮古島市	62	島尻郡	10
糸満市	55	中城村	9
宜野湾市	52	今帰仁村	4
うるま市	44	与那原町	4
北谷町	34	北中城村	2
久米島町	28	西原町	1
		無記入	97

※学校名・チーム名の回答は市町村名へ、市町村が不明な回答は無記入へ合算。  
※島尻郡は回答件数が少ない離島の合算。

問 6. あなたのお子さまが所属するチームの指導者はスポーツに関する資格を保有していますか。



問 8. 「怒る(怒鳴る)指導」に対するあなたの考え方として、次のどちらに近いですか。

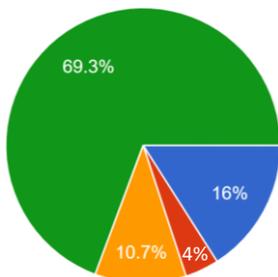


- A : 競技力が向上するなら指導者による「怒鳴(怒る)る指導」はあってよい
- B : プロや代表レベルならまだしも、子どもたちのスポーツ活動において指導者による「怒鳴(怒る)る指導」はあってはならない
- C : いかなる理由があっても指導者による「怒鳴(怒る)る指導」はあってはならない

問 9. スポハラが生じる要因としてどのような背景があると思いますか。※該当すると考えるもの3つ選択

選択項目	選択数	選択率
・チームが勝利至上主義を(勝つことばかりを追いもとめる)容認している	889	69%
・指導者と選手間での強い主従関係がある	674	52%
・コーチが新しい指導方法を学んでいない	600	47%
・コーチに度を越した熱意がある(指導の行き過ぎ)	524	41%
・コーチと保護者とのコミュニケーションが不足している	434	34%
・チームが集団主義(個人よりチームのためにを優先させる)を容認している	325	25%
・チームが非科学的な考え方を容認している	310	24%
・学校や保護者、地域の関与が不足している	286	22%
・その他(自由記述)	78	6%

問10. お子さまが所属するチームで今年4月から今までの活動中に、スポハラと思われる不適切な行為はありましたか。



- 実際にそのような場面を見た
- そのような行為があったと別の保護者から聞いた
- そのような行為があったと子どもから聞いた
- なかった

\*所属するチームで実際にそのような場面を見た(競技ごと)

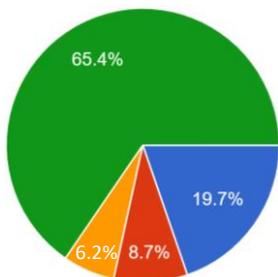
競技	件数	回答総数(競技)	割合
バスケットボール	88	327	27%
野 球	62	204	30%
バレーボール	24	168	14%
ハンドボール	9	96	9%
その他	6	100	6%
水 泳	5	25	20%
サッカー	4	119	3%
ソフトテニス	2	27	7%
アイスホッケー	1	1	100%
テニス	1	60	2%
バドミントン	1	107	1%
空手道	1	20	5%
陸 上	1	20	5%
合計	205	1274	16%

※上記表は実際にそのような場面を見たと回答した競技のみを記載。

実際にそのような場面を見た(学年ごと)

学年	件数	回答総数	割合
小学1年生	3	13	23%
小学2年生	2	16	13%
小学3年生	14	44	32%
小学4年生	27	74	36%
小学5年生	52	140	37%
小学6年生	60	170	35%
中 学 生	34	755	5%
高 校 生	13	72	18%
総計	205	1284	16%
小 学 生	158	457	35%
中 学 生	34	755	5%
高 校 生	13	72	18%
総計	205	1284	16%

問11. お子さまが所属するチーム以外で今年4月から今までの活動中にスポハラと思われる不適切な行為はありましたか。



- 実際にそのような場面を見た
- そのような行為があったと別の保護者から聞いた
- そのような行為があったと子どもから聞いた
- なかった

\*所属チーム以外で実際にそのような場面を見た(競技ごと)

競技	件数	回答総数(競技)	割合
バスケットボール	98	327	30%
野 球	49	204	24%
バレーボール	31	168	18%
サッカー	21	119	18%
ハンドボール	21	96	22%
バドミントン	10	107	9%
その他	7	100	7%
テニス	6	60	10%
水 泳	5	25	20%
ソフトテニス	3	27	11%
陸 上	2	20	10%
合計	253	1253	20%

※上記表は実際にそのような場面を見たと回答した競技のみを記載。

実際にそのような場面を見た(学年ごと)

学年	件数	回答数	割合
小学1年生	2	13	15%
小学2年生	4	16	25%
小学3年生	17	44	39%
小学4年生	26	74	35%
小学5年生	44	140	31%
小学6年生	61	170	36%
中 学 生	85	755	11%
高 校 生	14	72	19%
総計	253	1284	20%
小 学 生	154	457	34%
中 学 生	85	755	11%
高 校 生	14	72	19%
総計	253	1284	20%

問12. ①問10・11で実際に見たスポハラは誰から誰に対してのものでしたか。※[=]線から下はその他自由記述 407件の回答

選択項目	選択数	割合
・指導者から選手	381	93.6%
・選手同士	50	12.3%
・保護者から選手	42	10.3%
・指導者同士	16	3.9%
・保護者から指導者	16	3.9%
・指導者から保護者	18	4.4%
・外部コーチから選手	2	0.5%
・トレーナーから選手へ	1	0.2%
・その他記述	8	2.0%

②スポハラの現場を実際に見た際にどのような行動を取りましたか。※[=]線から下はその他自由記述 401件の回答

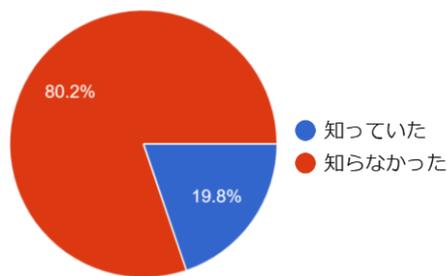
選択項目	選択数	割合
・気にはなつたが特になら行動は起こさなかった	228	56.9%
・チームの保護者会で問題提起した	57	14.2%
・スポハラを行った当事者に対し直接声かけし注意した	39	9.7%
・子どもの通う学校に相談した	38	9.5%
・直接的には言わなかったが、当事者が聞こえる程度で声で苦言を呈した	16	4.0%
・地域の市町村教育委員会に相談または通報した	11	2.7%
・競技団体に相談または通報した	9	2.2%
・動画を撮った	9	2.2%
・地域の体育・スポーツ協会に相談または通報した	8	2.0%
・県の保健体育課またはスポーツ振興課に相談または通報した	4	1.0%
・県スポーツ協会に相談または通報した	3	0.7%
・日本スポーツ協会(JSPO)や中央競技団体の設置する暴力等相談窓口へ相談または通報した	3	0.7%
・弁護士に相談した	3	0.7%
・マスコミに情報提供した	2	0.5%
・警察に通報した	0	0.0%
・その他(自由記述)	65	16.2%

2013年に日本スポーツ協会など関係団体による「スポーツ界における暴力根絶宣言」が採択されてから10年を経て、改めて2023年4月25日から

- ①日本スポーツ協会      ②日本オリンピック委員会      ③日本バラスポーツ協会
- ④日本中学校体育連盟      ⑤全国高等学校体育連盟      ⑥大学スポーツ協会

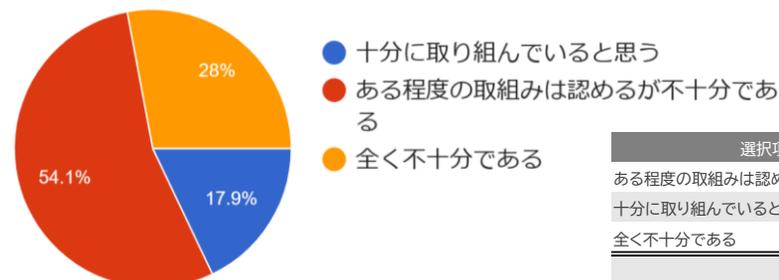
上記6団体を中心となり「NO！スポハラ」活動がスタートしました。  
我々、沖縄県スポーツ協会においても、スポーツ界からスポハラの根絶を目指す「NO！スポハラ」活動に賛同し、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会作りに貢献することとしておりますが、そのことを踏まえ以下の問にお答えください。

問13. 2023年4月25日から日本スポーツ協会などが中心となり「NO！スポハラ」活動がスタートしたことを知っていましたか。



*学年ごとの知っていた/知らなかった				*知らなかった(カテゴリーごと)		
学年	知っていた	知らなかった	回答数	学年	知らなかった	割合
小学1年生	5 38.5%	8 61.5%	13	小学生	131	51.6%
小学2年生	2 12.5%	14 87.5%	16	中学生	103	40.6%
小学3年生	8 18.2%	36 81.8%	44	高校生	20	7.9%
小学4年生	17 23.0%	57 77.0%	74	計	254	
小学5年生	43 30.7%	97 69.3%	140			
小学6年生	56 32.9%	114 67.1%	170			
中学生	103 13.6%	652 86.4%	755			
高校生	20 27.8%	52 72.2%	72			
計	254 19.8%	1030 80.2%	1284			

問14. スポハラ予防に関するスポーツ界の取組みは十分と思いますか。



選択項目	小学生	中学生	高校生	計
ある程度の取組みは認めるが不十分である	238	425	32	695
十分に取り組んでいると思う	84	136	10	230
全く不十分である	135	194	30	359
計	457	755	72	1284

# アンケート回答結果

・前問14において「不十分」又は「全く不十分」と考える具体的な理由があれば教えてください。 ※676件の回答

## 回答結果から得られた主な意見

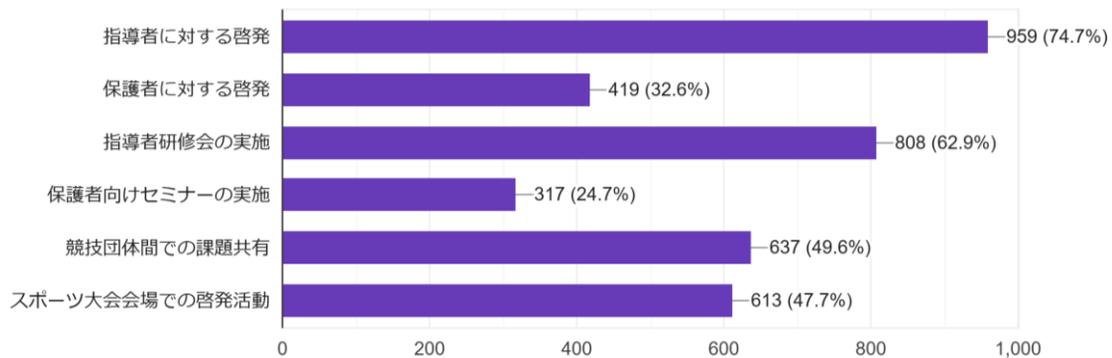
### 〈周知に関して〉

- ・「NO!スポハラ」という言葉自体や活動をスタートしている事を知らなかった為、もっと広く告知するべき。
- ・ニュースやメディアを通じてスポーツハラスメントの問題が広く報じられていることから、まだまだ解決途上の印象が強い。
- ・活動がまだ浸透しておらず、具体的な取り組み内容や指導者に対する支援が不透明なため、もっと詳細な情報が必要。

### 〈指導者や団体に対して〉

- ・指導者の研修や教育が不足しており、特に昔ながらの指導者や上層部に古い考え方の人が多く、その影響が残っているとの指摘。
- ・協会や行政の対応が不十分であり、相談体制の不備についての苦言。
- ・スポハラ予防の情報や取り組みが周知されておらず、学校や協会からのアプローチが不足しているとの指摘。
- ・指導者の中には古い価値観や過度な叱責を行う人がおり、アップデートができていない指導者が見受けられる。

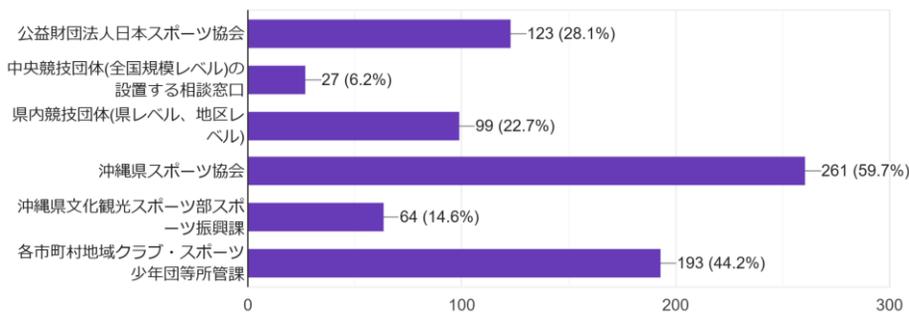
問15. スポハラ予防に関して、今後、沖縄県スポーツ協会に取組みを強化してほしい分野をあげるとしたら次のうちどれですか。



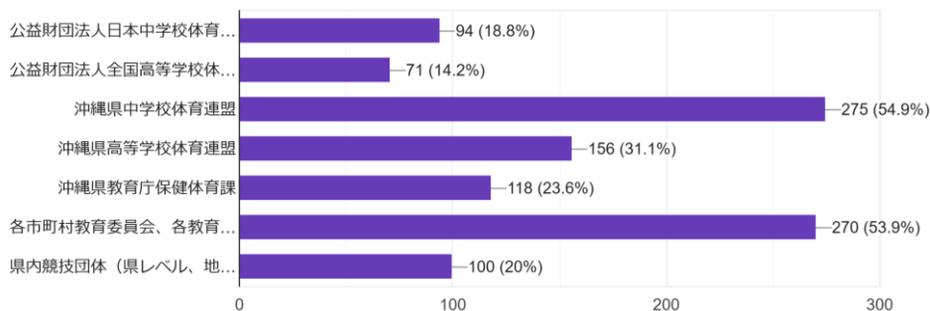
問16. スポハラ等に関する相談窓口について

相談窓口は多岐にわたり存在しますが、以下のスポーツ活動の場面毎に、あなたが相談窓口として認識している(知っていた)機関を全て選択ください。 ※本アンケートにより初めて相談窓口として認識した機関は選択しないでください。

・地域のスポーツ少年団や総合型クラブにおける困りごと相談 ※437件の回答



・中学校・高校の部活動における困りごと相談 ※501件の回答

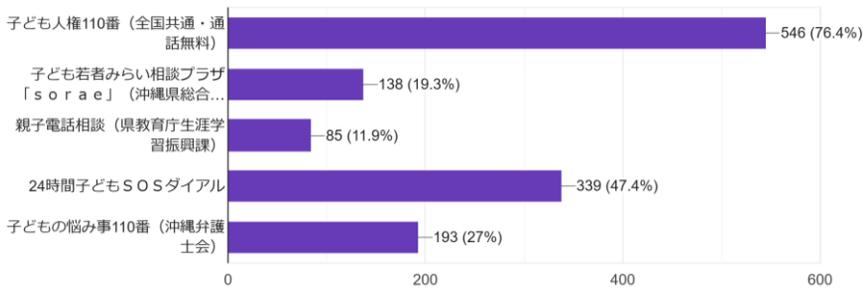


## 問16. スポハラ等に関する相談窓口について

相談窓口は多岐にわたり存在しますが、以下のスポーツ活動の場面毎に、あなたが相談窓口として認識している(知っていた)機関を全て選択ください。※本アンケートにより初めて相談窓口として認識した機関は選択しないでください。

上記を含め人権侵害全般の困りごと相談

715件の回答



## 問17. 最後に、スポハラの予防に関してご意見ご質問などがあればご自由に入力ください。※一部掲載(424件の回答)

- ・ボランティアで指導している指導者に対して、コレはおかしい！と、保護者は言い難い。今は小学校で見守りができるが、中学、高校になると部活中のスポハラは把握しづらくなる点が気になる。
- ・小学校の部活の大会を減らしてほしい。バスケ、異常です。
- ・指導者が気持ちを熱く持って指導している事に対して、子供達も気持ちでぶつかっている事に水を刺すような事はやめて欲しい。
- ・スポハラだけが取り上げられているが、保護者からの不適切な言動もある。過度に自身の子供の話に反応しスポハラだと訴える保護者もいると思うのでちゃんと調査をしてもらいたい。
- ・指導者に対する啓発等をしっかり行って欲しい。研修を受ければ良いというだけではなく、問題があるとの情報があつた指導現場への抜き打ち立ち会い等の状況確認や罰則等。子どもが犠牲や心を壊される前に対応して欲しい。
- ・指導者には一生懸命に子ども達を指導しているので感謝しています。ただ、練習時間が長過ぎて心身ともに負担になっている事。楽しみながらスポーツがしたくて入部したが始めたのが遅いから上手にならないのは仕方がない、出来る子と出来ない子どもへの熱量があらさまに違う事でやる気がなくなってる事。子ども達のやる気をなくす言動が気になる。
- ・指導者が指導とパワハラの違いを学んでいただきたいです。ただ怒らないでという事ではなくマナーやルールを守らない子にはきちんとご指導いただきたいです。
- ・近年、叱られる事が少ない児童が多い為、ちょっとした事(注意など)でもストレスを感じる児童がいると思う。指導者は児童によって個別の対応を迫られており、高い指導スキルが求められると思う。研修会などでスポハラについてしっかり学ぶ必要があると思う。指導者と保護者が連携して、子供達のスポーツを支えていくべきだと考えます。
- ・怒鳴り叱ることでしか指導できない者は指導者の資格は無いと思う。練習の場でスポハラを目にしても、こんなものだとなれ切って問題視しない保護者の意識の低さも問題。クラブなど加入時に、スポハラについてのチラシ配布や定期的な保護者セミナーを開催するなど、スポーツは楽しむものでハラスメントや死に繋がるものではない、勝利至上主義ではなく、子供自身の成長が目的だと伝えるべき。旧来のやり方で指導される子供達は可哀想で、心への影響が心配です。
- ・私の子供は、スポーツに関する部活動、活動ではなく文化系になります。今回のアンケートは、運動部に関する内容になっており、アンケートを実施するなら文化系も同様に考えるべきだと思います。スポーツハラスメントではなく、文化系も同様に調査して欲しいと思います。内容的には文化系にも繋がる不具合があるのでスポーツにおけるハラスメントではなく、部活動におけるハラスメントの題で、文化連盟とも協力して行って欲しいと感じました。
- ・指導者には感謝しかありませんが、保護者との平等なコミュニケーションを希望します。そこからスポハラ予防につながると思います。
- ・怒鳴る指導があっても良いを、選択しましたが、常にそれが認められるとは思っていません。スポーツに対する気持ちや、道具を大事にしない、仲間を大切にしないなど、大事な時などには、必要だと思います。子供達も、怒らないと知っているせいか、ずっと、ふざけているのも見受けられます。保護者は、注意しますが、さすがに強くは怒れません。なので、聞き流されます。体罰や、人として傷をつける言動は、あり得ないですが、怒鳴るということ、一切禁止にするという、千引きは、難しいような気がします。
- ・今回、アンケートを取ったのは画期的だと思います。ありがとうございます。アンケートは取っただけで終わるのではなく、分析して公開して、今後の取り組みを周知発信してください。